

コンピュータのイメージの変遷（価値観の多様化）

コンピュータ：computer
デジタル計算機

コンピュータのイメージ

「コンピュータ」という語の持つイメージは 産業のパラダイムシフトと共に変化

コンピュータという1つの革命？

パラダイム：paradigm

思考の枠組み。物の見方、考え方。世界観。

パラダイムシフト = 思考の枠組みが変化すること

・・・確かにこのレベルでの変化はあるかもしれない

話題)

アルビン・トフラー 「第3の波」

農耕社会

産業社会

情報社会

現在起きているパラダイムシフト

問) みなさんが現在持っている「コンピュータのイメージ」は？

問) SF 映画などにコンピュータの未来像が描かれたりしていますが、みなさんが持つ
コンピュータ未来像は？

イメージの変遷

1970 年代 情報化社会への移行

権威と力の象徴

すべての事を圧倒的な速度と規模で行うことを可能にする

全知全能の創造物

産業革命以来の「物財に対する機械」と同じ発想で使用された

「規模の価値」(スケールメリット)

コンピュータは「物」である

1980 年代 集積回路の進化

「マイコン」「パソコン」の出現

コンピュータは個人の創造活動をサポートする道具

個性実現、多様な価値観の許容を支援するツール

物財社会では見られなかった新しい経済価値の発生

(それまでは採算が合わなかった)

範囲の価値(スコープメリット)

「もの」から「デザイン」

1990 年代 双方向性「情報の発信・受信の対称性」
コンピュータ + ネットワーク + グループウェア

直接民主主義の実現の可能性
マスメディアは一方向情報伝達機能はきわめて高い・・・
が、マスメディアは民主主義の真義（平等・民意の反映）のツールには成り得ない

双方向性はこれらの障壁を取り除く強力な武器と成り得る

連結の価値（**コネクションメリット**）
「異質な個性、文化が会うことによって、新しい価値を創造する」
「**スタイル**」

「物質社会」から新時代への立脚すべき基盤に？なるか？

：

話題)「脳・コンピュータインターフェース」

つまりは コンピュータの位置付けは...
「競争のための装置」

「個性実現のための支援ツール」

「共創のためのメディア」

と、変化し続けている。個人をより重要視する方向で動いているといえる。
(現在は単なる「計算機」というイメージはない)

人間の生活におけるパラダイムシフト・・・
「個々人が頭のなかに知識を所有したり、本棚に自分の本をならべたりする」

「Web 等で調べる」

「世界規模の知的資産のナビゲーションを可能にする」

知的活動をグレードアップする変革

- ・情報量の拡大
- ・「物」からの脱却
- ・メディアの変化

パソコン・携帯電話などを中心とする、**コピキタス**コンピューティング（授業後述）への流れ